

2022年6月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	3,059,961	381,993	801.1%	28,778,830	10.6%
国内旅行	3,023,032	687,405	439.8%	3,845,575	78.6%
訪日旅行	20,861	3,793	550.0%	2,712,666	0.8%
合 計	6,103,854	1,073,191	568.8%	35,337,071	17.3%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ 5 社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデー・トラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019年同月比を基準に記載しております。

1. 海外旅行

日本における新型コロナウイルス感染症対策の水際対策の緩和として、6月1日より1日当たりの入国者数上限を2万人（※）に引き上げられるなど、徐々に海外渡航の再開の兆しがみられました。HIS では「HIS SUPER SUMMER SALE! 2022」を皮切りに、ハワイをはじめとする37の国と地域（6月時点）で主催ツアーを再開しており、旅マエの「出発時 PCR 検査付き航空券」や、旅ナカの「自由旅行あんしんパック付き航空券」といった「海外自由旅行キャンペーン」を通じて、海外渡航喚起に努めてまいりました。しかしながら、日本発着による国際線の航空座席供給数に制限が続いていることから、2019年同月比においては、まだ本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、海外旅行の取扱高は、前年同月比 801.1%、2019年同月比 10.6%の 30 億 5,996 万円となりました。

2. 国内旅行

国の観光支援事業である「県民割」の地域ブロックの展開により、全国規模でマイクロツーリズム需要の高まりがみられ、HIS では、バスツアーの割引対象地域の出発地を拡大したことで、首都圏発を中心に旅行者の大幅な増加がみられました。また、長野市にある善光寺最大の盛儀として有名な、7年に一度の「善光寺御開帳」の最終月ということもあり、バスツアーのみならず、鉄道ツアーの展開も図ることで、顧客ニーズに対応し集客に努めました。パッケージツアーの強化としては、「沖縄 LeaLea キャンペーン」（沖縄）や、「アニ旅×進撃の巨人」（沖縄・北海道）のコラボレーション企画が、6月出発にも効果をもたらしており、沖縄への送客が、前年比 5 倍、北海道への送客が前年比 8 倍以上と大きく伸び、取扱高を押し上げました。

以上の結果、国内旅行の取扱高は、前年同月比 439.8%、2019年同月比 78.6%の 30 億 2,303 万円となりました。

3. 訪日旅行

6月より1日当たりの入国者数上限を2万人（※）へ引き上げ、そして6月10日より添乗員付きパッケージツアーの外国人観光客の受け入れが解禁されるなど、徐々に訪日旅行マーケット再開の動きがみられました。しかしながら、入国者数・旅行形態の制限が続いていることから、レジャー需要の本格的な戻りには至っておらず、訪日旅行の取扱高は、前年同月比 555.0%、2019年同月比 0.8%の 2,086 万円となりました。

以上の結果、2022年6月の取扱高総計は、前年同月比 568.8%、2019年同月比 17.3%の 61 億 385 万円となりました。

（※）日本人帰国者と訪日渡航者の入国者数を合わせて2万人

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177